

令和6年度 第2回 中津川市総合計画審議会 議事録

I 開催日時

令和7年(2025年)2月18日(火) 14:00~16:00

II 開催場所

中津川市役所4階 大会議室

III 委員名簿 21名 欠席3名

IV 次第

1 開 会

2 委員紹介

3 資料説明

4 会長及び副会長あいさつ

5 中津川市総合計画について(諮問)

6 議事

(1) 基礎調査の実施報告 【資料1】～【資料5】

- ・市民意向調査の結果(アンケート調査結果、グループインタビュー調査結果)
- ・現行計画の検証(各課ヒアリング結果)
- ・課題と強み

(2) 基本構想素案について 【資料6】～【資料8】

①政策の目指す姿(案)

②将来都市像(案)

7 閉会

V 議事要旨

<開会>

- ・令和6年度、第2回中津川市総合計画審議会を開会

<委員紹介>

- ・事務局より委員の紹介

<資料確認>

- ・事務局より資料確認

<会長、あいさつ>

- ・会長あいさつ

<議事>

協議事項 (1) 基礎調査の実施報告について
(事務局から説明)

(質疑)【要旨】

質問	市民意向調査の回答者の年齢構成について、半数が60歳以上である。無作為抽出だとしても補正した方がよい。総合計画が10年である事を考えると、若い世代の意見が大事だと思うがどうか。
回答	Webによる別途調査において、多くの若い方の意見を取り入れている。紙面の都合上、資料3には無作為抽出のみ掲載しているが、計画策定の検討においては別途調査等も含めて検討していく。

協議事項 (2) 基本構想素案について

①政策の目指す姿(案)
(事務局から説明)

(意見)【要旨】

【分野】子育て・教育	
意見	<ul style="list-style-type: none">• 子育て・教育に関して、教育委員会から提出した内容が反映されていると感じる箇所と、少子化・人口減少のトレンドを反転させるといった、今まで教育委員会で挙がっていないものがある。中津川市教育大綱とのすり合わせも必要なのではないか。• 政策の案について、「心身ともにたくましい子が、産まれ育つ」とあるが、イメージが古い。これからの時代の人口減少を意識して、結婚・妊娠・出産・子育ての希望が叶うまち、みたいな現在の少子化問題に対応するかを政策の中心にして、もっと打ち出した方がよい。子育てに関しては、若い人のイメージに合うテーマを出した方がよいと思う。• 人口減少を受け入れるか受け入れないかが根本的な話で、市のあるべき姿でどちらを取るか明確にしておかないと、政策がぶれるのではないか。• 政策案の「心身共にたくましい子が、産まれ」の「産まれ」が引っかかる。中津川市にいる子がたくましく育つならいいが、様々な要素を混ぜた結果、この文章になっていると思う。人口が増えるのと、たくましい子を育てるのは別の方がよいのではないか。• 子育て・教育に関して、目指すべき姿が女性中心の記載に見える。結婚・妊娠・出産・子育てについては、男性も非常に重要な立場である。結婚等が増えない理由には、若者の仕事や賃金などの将来の不安も考えられるため、市のあるべき姿に安心して働けるまちを入れていただきたい。

【分野】健康・福祉	
意見	<ul style="list-style-type: none">• この先高齢化率が上昇し、一人暮らしの方が増えてくる。その方々の困り事に対応するため、地域と専門職をつなぐコミュニティソーシャルワーカーを配置し、重層的な支援をしながら柔軟な相談ができる仕組みが必要なので、そのような文言がほしい。• この中に医療という言葉はあるが、介護という言葉がないので必要だと思う。• 3ページのあるべき姿の場所に、より多くの医療職員を目指す学生を支援・育成し、市内に就職できる事で地域医療をできる人材を確保とあるが、政策の目指す姿の場所にない。• 全般的に坂下地区・恵北の問題がよく出ている。政策で安心して医療が受けられるまちと記載しているが、この地区で明確に強みを作っていくといけないうい。• あるべき姿のところにある救急医療体制を維持することができるかとあるが、今

	年度指令所が統合されてしまう問題が出ている。その点を弱体化しないような施策を考える必要がある。
--	---

【分野】 共生・協働・定住	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・中津川市の現状を見ると、外国人の数が増えていくと思われるが、表現がかなり抑えてある。誰もが（国籍問わず）活躍できるとあるが、その前に誰もが同じように住める環境を作っていくのが大事ではないか。今後外国人の数が増加していく中で市の在り方の方向付けをする必要がある。 ・地域の中で、地域内に居住している外国の方と交流したいが、雇用している事業所と連絡が取れないということがある。企業においても共生の数字の目標、企画などがあるとよい。 ・リニア開通で外国人の数や人口が増えていく中で、国際感覚・リーダーシップを持つグローバルな人材育成を目指すのならば、もっと地域に住む外国人と地域の人達の交流を増やす方に進んでいった方が良いのではないか。

【分野】 生涯学習・文化・スポーツ	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・この分野に限らず、課題を政策に反映しきれていない箇所がある。政策や目指す姿の中に、課題として掲げられた文言が入ってこないのはもったいない。調査によって「文化や歴史が活用できていない」という課題が明らかになったならば、次期計画において、政策に入れるか、難しければ目指すべき姿に入れたほうがよいのではないか。

【分野】 防災・防犯	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の年々減少が止まらない。消防団でも施策を行うが、市でも加入を増やすような施策がほしい。それが防犯・防災に繋がると思う。

【分野】 環境	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・自然というキーワードが多く出てくるが、汗を流す人が少ない。そういった人を守り育てていくシステムがないと、農地などは減っていく一方である。 ・子育ての場所でもそうだが、「未来の人材が育つまちと」あるが、他人事のように見える。地域の人が育て、市がそれに投資をしていくことをしないと、中津川に未来がないと思う。学校教育だけではなく、中津川全体で関わって人材を育てていくような画一的なものではなく、もっと広い分野での教育システムを作っていけたらと思う。「人が育つまち」から「人を育てるまち」という意識が必要 ・岐阜県は小水力発電が盛んで、潜在的なエネルギーが豊富な場所である。自然エネルギーについてもう少し記載がほしい。加子母地区では既に県営の小水力発電施設がある。中津川市の自然のポテンシャルを考えると、自然エネルギーについて何かもう少しできるのではないか。 ・ごみの関係だが、今のごみ処理というのは家庭にごみ袋があって、なんでも入れれば回収日に回収されることになっている。しかし、これからのことを考えると、住民の負担が増えたとしても、もう少し違う施策していかないと、立ち行かなくなるのではないか。 ・脱炭素やカーボンニュートラルや数値目標等の文言が、目指すべき姿の場所に見られないので記載してほしい。

【分野】 産業	
---------	--

意見	<ul style="list-style-type: none"> • 産業の工業生産に関しては頑張っているが、街中の商業施設、市民が憩う場所・遊ぶ場所が欠けていると思う。せっかくリニアが開通されるので、そこを目指してなんらかの施設を考えていくべき。 • 市長が目指す宿場町構想も一つの大きな商業・産業施策になると思うので、これも見据えた上で追加していくのもよいのではないか。 • 政策案の冒頭に「自然や文化を活用」とあるが、冒頭にこれを持ってくると、重きを置きすぎている気がする。文言を外した方がよいのではないかと。強みの方に大規模な製造業があるのに、市が限定した産業分野に誘導しているように見える。 • あるべき姿の中で、市としてアントレプレナー（起業家、新たに事業を起こす人）への支援を明記した方がよい。 • 市には知的労働ができる企業が少ない。若者が帰ってくるための受け皿としてそれらを誘致、確立することが必要なため、あるべき姿の中に入れておいた方が施策をやりやすいのではないかと。 • アンケート結果で自然について強調されているが、実際の農業人口は減り続けている。目指す姿のところで持続可能な農業のまちと書いてあるが、この言葉だけで具体的な人材育成等の施策等が書かれていないのは気になる。 • 課題の設定のところで、遊ぶ場所が不足しているというのは、遊び方を知らないのが問題であって、遊ばせてもらうのではなく、遊ぶ方法を工夫して考えられる人を育てていかないといけない。 • 中津川の森について、林業が盛んだが、今は林業だけでなく、林業を介したさまざまな取り組みが出てきている。そういった環境を利用して、もっと市がアピールをして自然と遊ぶ方法を考えられる人材を育成してほしい。 • 今の時代、森林空間の利用について広く叫ばれているので、何か文言を入れてほしい。 • 産業のところで林業は市にとって誇り高い産業であると書いてあり、将来の目指すべき姿にも建築物に多くの市産材が使用されると書いてある。木造建築はCO₂の排出を50年間固定し、環境にも優しいので、市の公共建築物に積極的な木材の使用や木造建築にする施策がほしい。 • 産業という区分は幅広すぎるのではないかと。自然や文化と工場生産両方を無理やり取り入れているので、軸がぶれている気がする。産業という区分を広く取ることが本当によいことなのか。あるべき姿も政策もますます広がっていき、できるものだけを採用する危険性がある。 • 目指すべき姿にリニアの記載がない。基盤整備ではリニアの記載が多いが、この線引にはルールがあるのか。10年後の答えを出しやすくするために、分野を1つにしてないかと想像してしまう。確実に物事をやっていくのであれば、細分化された記載が産業の中にあってもよいのではないかと。 • 観光関連についてだが、観光を産業化していこうという段階で、まだ産業化できていない認識で動いていると思うので、立ち位置を一緒に考えていただきたい。観光協会・会議所・商工会と足並みをそろえて、政策の目指すべき姿というものを作っていただきたい。 • 中山間地域の商業インフラは将来的には無くなってしまおうと思われる。ただ、目指すべき姿の文言では、商業の持続的な発展と書いてある。計画に入ってくるのかもしれないが、もう少し明確な施策の記載がほしい。 • 商業の持続的な発展を目指すのであれば、中山間地域の商業インフラに対する施策を具体的に示してほしい。 • 農業の中で、栗が温暖化の影響で例年の半分程度の収穫であった。栗は中津川市の特産品であるので、産業や観光の支援として、市もやっていくべきではないかと。 • 観光に関しては、コロナ禍以前より観光客が増加している。日本各地でオーバーツーリズムが問題となっているので、中津川市も観光客の分散を市の施策等でお願ひしたい。
----	--

【分野】基盤整備	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの運行に関して、最大の課題は乗務員の確保である。乗務員の高齢化が進んでいる。この先、企業だけでは旅客業は厳しいので、市としても公共交通の確保・人材確保という面で施策を行っていただきたい。

【分野】行政運営	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・行政運営が保守的であると課題にもあるが、中津川市は 2005 年に 1 市 7 町村が合併して、15 地区で運営されている。これが 10 年先も可能なのか。行政区も地区の中に細かく分かれているが、区長のなり手がいない。更に民生委員の数が多すぎる。原因は 15 地区も維持されていることではないか。10 年の中で必ず出てくる課題だと思う。 ・15 地区の維持が本当に必要なのか検討をする必要がある。 ・行政運営が保守的であることに関してだが、合併して一つの中津川市になってから 20 年経過している。職員が、自分が生まれ育った地域以外の場所では、攻めた施策は遂行できないのではないかと。攻めた施策ができる環境を皆で整えていく必要があると思う。 ・総合計画というのは、将来を作る戦略だと思うが、戦略をチューニングしていく中で市役所の組織もそれに対応して変わるべきだと思う。マーケティング課や人材育成課等、時代の様相に合わせた組織づくりが必要ではないか。

- ②将来都市像（案）
（事務局から説明）
（意見）【要旨】

意見	<ul style="list-style-type: none"> ・この部分のキーワードが、中津川市の将来の空気を作っていく。中津川にいたら楽しいとか、ワクワクするという空気感がいいまちを作っていく。中津川市は教育に関して見せ方が下手なだけで、中身はうまくやっている。ワクワクすることは大事であるが、3つの将来像の人づくり・地域づくり・安心づくりの中身の文言がワクワクしない。表現が硬く感じる。一貫してつながっている空気感が大事である。 ・「笑顔があふれる」と言わなくてもよいのではないかと。未来がワクワク中津川のように、短くても伝わるものもある。 ・できるだけキャッチーにして、「中津川」が入ってなくても良い。差別化する必要もなく、大事なのは中津川市民が愛着を持てることである。現在 AI で3つの将来像を入力するだけでさまざまな表現が出てくるので、こういうのも活用してみてもよいのではないかと。 ・「自然」というキーワードは中津川市の特徴なのでほしい。 ・残したいキーワードを会議で決め、公募で募集するのも面白いのではないかと。 ・中津川が一つになっていないので、中津川が一つになれるようなフレーズがほしい。
----	--

<その他>

- ・次回の日程は、来年5月～6月頃を予定している。詳細は改めて調整する。
- ・次回の資料は、およそ1ヶ月前を目途に送付する予定である。

<閉会>

- ・令和6年度第2回中津川市総合計画審議会を閉会。

以上